

平成30年度 多様な主体による連携強化・発展型の消費者教育強化事業の採択について

県が富山県消費者協会に委託している「平成30年度多様な主体による連携強化・発展型の消費者教育強化事業」について、先般、県内の複数の消費者団体・事業者団体、NPO法人等により構成された実行委員会が企画・実施する「若者向け消費者教育強化活動」、「高齢者向け消費者教育・見守り強化活動」及び「持続可能な社会の実現に資する活動（食品ロス削減、エシカル消費、消費者志向経営等）」に関する事業を公募し、選考した結果、下記の4事業が採択されました。

実行委員会名	構成団体	事業名・事業内容
富山県消費者トラブル防止啓発実行委員会	NPO法人F-site、株式会社ケーブルテレビ富山、富山国際大学、県内高等学校	「高校生らによる消費者教育番組制作事業（エシカル消費編）」 高校生を対象にエシカル消費についての講習会を実施し、その後、高校生がエシカル消費を説明する映像を制作して「ハイスクールちゃんねる」内で放送配信する。若者が発信主体となって継続的に活動に取り組むことで、持続可能な社会の実現に興味関心を持つ若年層への浸透拡大を目指す。
朝日町消費者被害防止対策連絡会	富山県消費者団体連絡会、朝日町、朝日町社会福祉協議会、朝日町民生委員児童委員協議会、朝日町いきいき連合会、水下新聞店（北日本新聞朝日販売店）、ローソン平柳店、セブンイレブン月山店、泊郵便局、北陸銀行泊支店、にいかわ信用金庫泊支店、第一銀行泊支店、JA（調整中）、自治体連絡会（調整中）、富山県生活協同組合、生活協同組合CO・OPとやま	「朝日町住民への消費者教育及び見守り活動」 高齢者を対象とした悪質な消費者被害の深刻化に対し、消費者団体・事業者・行政・警察等と連携協力し、防止・抑止のためのネットワークづくりと見守り・啓発活動を実施する。朝日町でのモデル事例を、他の市町村にも広げることを目指す。
地域での見守り活動推進実行委員会	生活協同組合CO・OPとやま、富山医療生活協同組合、富山県学校生活協同組合、株式会社フェイス、株式会社流通サービス、とやまアルペン乳業株式会社、有限会社食のコンサルタントブーケ、有限会社レインボー共同サービス、CO・OPエコクラブ	「消費者教育による地域見守り活動の推進事業」 高齢者を狙った悪質な被害が継続的に発生し、一方、認知症の見守りや食品ロス・エシカル消費への理解促進の必要性も重要になっているため、参加団体と連携協力を図り、より広く細やかに消費者啓発活動を実施する。
見守りジュニア育成実行委員会	富山県生活協同組合、富山大学生生活協同組合、株式会社ダスキン北陸（ヘルスレント富山ステーション）、地域包括支援センター（調整中）、富山県立大学生生活協同組合	「見守りジュニア育成事業」 認知症高齢者の消費者トラブルを防ぐために、放課後に高齢者とかかわる機会の多い小学生と地域の住民を対象に消費者教育等を実施する。又、消費者市民社会の形成と成人年齢の引き下げを見据え、大学生が講師を担うことで若い世代の成長を支援する。